



第53回 愛知県社会人バドミントン選手権

平成30年1月21日、中スポーツセンター、志段味スポーツランド、28日、刈谷市体育館において、開催された。

今回から、新しく混合ダブルスが加わり、年齢別各種目も5歳刻みとなり、総数400を超える試合で熱戦が繰り広げられた。

一般男子シングルス – 自信に溢れ、和田周選手(JTEKT)初優勝！ – ● ● ● ● ● ●

S/Jリーグ昇格が決まり、「今が旬」のJTEKTが、ベスト4のうち、3人を占めた。

地元、岡崎城西高校出身の新鋭、野中隆太郎選手。コートの隅から隅までシャトルを拾いまくり、身体を投げ出しながらの執念の返球は、昨年の覇者第1シードの齋藤裕進選手(トヨタ自動車)をも根負けさせた。

松村健太選手は、鍛えられた身体から放つ、滞空時間の長いジャンピングスマッシュが威力抜群。どのゲームも冷静に勝機を掴む。さすが、昇格の立役者のひとりだ。

優勝は和田周選手。昨年まで、県下の多くの大会で優勝候補に名が挙がるのだが、実力が発揮されず、精彩を欠く試合が多かった。「本命がやっと…」という感じだ。格が違う。角度をつけ、コースを狙った配球。天性の感覚でラリーに微妙な緩急をつける技術。勝負どころの集中力と多彩なショットで勝利を収めた。

「(昇格は)チーム内の立ち位置と(自分の)意識を変えた」と言う。「数少ない(1部リーグ)経験者のひとりとしてチームを引っ張っていく。自覚をもって練習している。」

S/Jリーグの活躍を予感させる頼もしい言葉だ。



和田周選手

一般女子シングルス – 元気いっぱい、藤原あすか選手(トヨタ自動車)が勝利！ – ● ● ●



藤原あすか選手

一般女子シングルスの決勝は、藤原あすか選手と二村ひとみ選手の同チーム対決となった。共に今年入社の新人、19歳だ。互いに手の内を知り、プライベートでも仲が良い。立ち上がりから、両者厳しいコースを突きあう。相手をコートいっぱいに走らせる。ミスを恐れず、果敢に攻める二村選手。長いラリーの中でも、威力のあるシャトルを打ち返す藤原選手。第2ゲームのインターバルまでは文字通りシーソーゲームだったが、その後藤原選手の集中力が一気に加速した。徹底的

に相手サウスローのバック奥を狙い、効果的に得意のドロップカットを散りばめ、相手の決め球のクロスネットを狙いすまして反対に叩く。豊富な運動量とクレバーなプレーが勝利をグッと引き寄せた。

「私はシングルスプレーヤー」と胸を張る。「1ゲームも落とさない。(失点は)1点でも少なくモットー」に、「全国で名の知れる選手の仲間入りをしたい」と瞳を輝かせた。

一般混合ダブルス – 息ぴったり、三好・野田組に初代の栄冠！ –

新設された一般混合ダブルスの部。初代覇者は、三好耕二(大同特殊鋼)、野田郁恵(豊田通商)ペア。結成5年目。全日本総合出場の経験も持つ実力者だ。

混合ダブルスの魅力を「女子を如何に上手く使うか。作戦の組み立てが面白い」「女子ダブルスにはない攻撃力」と言う。「作戦」と「攻撃力」が、ピッタリかみ合った瞬間を何度も演出し、順当に優勝を果たした。

(広報委員 山本 真弓)



(左) 三好耕二選手 (右) 野田郁恵選手

一般男子ダブルス – 初ペアでも強し、和田・松村組 チーム内対決を制す！ –



(左) 和田周選手 (右) 松村健太選手

一般男子ダブルスは38ペア参加の下、ベスト4総てをJTEKTペアが独占した。同一チーム内での戦いとはいえ、準決勝、決勝ともスピード感のある熾烈な打ち合いの試合となった。

決勝は和田 周・松村健太組が、平田典靖・宮嶋航太郎組を、第1ゲームは延長ゲームまでもつれたものの、2-0のストレートで打ち破り、初優勝となった。

「互いに力量を知っている。ラリーが長くなるのは分かっていた」ので、「我慢強くプレーした」ことが、勝利に繋がった。

一般女子ダブルス – 長いラリーを制し、井上・園田組に女神微笑む！ –

一般女子ダブルスは15ペアの参加の下、決勝は、井上 洋・園田絵里奈組(東海興業)と清水 恵・小池紗葉組(豊田通商)で争った。お互いミスの少ない、それ故1ポイント取るのに長い長いラリーが続く試合展開となった。第1ゲーム、井上・園田組は、先に18ポイントを取られながらも粘り、一気に追いつくと、そのまま逆転。第2ゲームも終盤まで競り合っていたものの、最後はクロスの早い切り返しを有効に使って押し切り、2-0のストレート勝ちで初優勝した。

試合後、「話し合いを重ねながらプレーをした、その回数はどこよりも多かったこと」が勝因。「勝利を継続し、優勝が当たり前になるように頑張りたい。」と力強く語った。

(広報副委員長 天埜 良彦)



(左) 井上洋選手 (右) 園田絵里奈選手

年齢別結果

	男子シングルス	女子シングルス	混合ダブルス	男子ダブルス	女子ダブルス
30歳以上	桂 秀典 (豊田自動織機)	市川 新子 (Cuckoo愛知)	芳賀 涼(豊田自動織機) 酒井 咲絵(豊田自動織機)	桂 秀典(豊田自動織機) 芳賀 涼(豊田自動織機)	市川 新子(Cuckoo愛知) 大草 結花(Tsutsumi)
35歳以上	中島 正人 (貴船BC)		吉川 功次郎(ウィスター) 吉川 純子 (Sweet)	中島 正人(貴船BC) 竹内 栄作(貴船BC)	渡邊 仁美(RHBT) 高間 麻里(さおりBC)
40歳以上	山脇 克泰 (ハネツキ会)	濱田 明日香 (フレスカ)	鶴原 孝佳(BS MORITA) 小佐々 美千代(Tsutsumi)	伊藤 峰人 (B-CREW) 吉川 功次郎(ウィスター)	高倉 あゆみ(RHBT) 真田 範子 (RHBT)
45歳以上	中島 信頼 (個人登録)		野田 昌明(貴船BC) 野田 実雪(貴船BC)	角藤 利明(JumSma) 安井 憲司(ATOM)	廣田 京子(JUPITER) 廉野 裕美(JUPITER)
50歳以上	森本 順 (名北クラブ)		岡本 哲哉(ライト) 近藤 志津(Leaders)	岡本 哲哉(ライト) 松原 伸幸(貴船クラブ)	門間 由美子(豊田) 間瀬 孝子 (半田)
55歳以上	峰 登志郎 (JTEKT)		鬼頭 尚見 (ウィスター) 小池 由紀子(ウィスター)	近藤 祥夫(ひいらぎBC) 塩澤 源市(個人登録)	西川 福美(岡崎フェニックス) 井上 貴子(名古屋徳川)
60歳以上	福井 邦芳 (名港クラブ)		上前 茂人(大門BC) 佐野 信子(ベアーズ)	近藤 一男(岩倉パラレル) 川原 雅治(名北クラブ)	寶力 京子 (B-CREW) 水野 恵以子(SETOMINTON)
65歳以上	岸 邦晴 (名北クラブ)			渡部 義弘(貴船BC) 松本 博(貴船BC)	田中 京子 (岡崎フェニックス) 内門 さち江(岡崎フェニックス)
70歳以上	越前屋 直行 (RHBT)			門野 浩治(NANZANクラブ) 園部 繁夫(東海シャトルズ)	

第14回 愛知県シニアバドミントン交流大会 – 平成30年1月14日西尾市体育館 –

本大会は、市町村の持ち回りで実施している。今年度は、西尾市バドミントン協会が担当。昨年の大雪とは打って変わり、晴天に恵まれ、総勢91組182名が集まった。

開会式では、西尾市バドミントン協会の近藤晃右会長が、名産物である抹茶・カーネーション・ウナギなど西尾市のPRを前面に出した挨拶で選手を和ませつつ、「シニア世代の頑張りで、愛知県のバドミントンも盛り上がっている。人生100歳!」と選手を激励した。

各試合は元気いっぱいの若々しいプレーが随所に見られ、シニア世代の地域交流・発展に大いに寄与した。

来年度は春シーズンでの開催となる。今回、寒い中でプレーするのが怖く戸惑っていた選手も、是非ともエントリーして、一層大会を盛りあげてほしい。

(広報委員 森田 英樹)

各種目の優勝ペアは右記の通り。

	男子複	女子複	混合複
40歳	濱本 昌也(SMAGAN) 篠原 彰(不老クラブ)	小佐々 美千代(Tsutsumi) 田中 江理子 (Tsutsumi)	桑野 篤史 (ペパーミント) 大橋 多恵子(ペパーミント)
50歳	長井 孝史(三菱重工) 森 大二(トヨタ紡織)	宮地 美和子(大口) 柿澤 和美 (蟹江)	佐野 章(ブッチャーズ) 永井 裕子(名古屋わかしゃち)
60歳	磯本 朝雄(Tsutsumi) 梶川 博之(豊田市)	杉本 美佐子(日進) 秋田 裕美 (知立)	浅野 勇(岩倉パラレル) 鈴木 信子(三好BC)

大府
JR 大府駅西口徒歩 8 分

バドミントンプロショップ
リーダース グループ SINCE1979

名古屋一社
地下鉄一社南出口より徒歩 2 分

はりーあっぷ
代表 中口直人
TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

(有)リーダース
代表取締役 菊田修光
TEL・FAX(052)703-2767

第26回 全国小学生選手権大会 – 4年生以下クラスが大活躍！！ –

平成29年12月22日(金)～26日(火)：広島県立総合体育館において、第26回全国小学生選手権大会が開催されました。上位入賞者は、次の通りです。今後益々の活躍を期待しています。



女子単4年生以下 優勝
山本 優愛
(みかわクラブ)



女子複4年生以下 優勝
伊藤 菜央加・岡本 芽
(師勝ジュニアバドミントンクラブ)



男子単4年生以下 準優勝
長束 翔太
(大里東スポーツ少年団)



男子複4年生以下 3位
寺西 怜生・森下 虎愛
(T-JumpJr.)

理事長通信

愛知県バドミントン協会
理事長 山田 順一郎



桜前線の北上とともに、平成29年度も残すところあと僅かとなりました。皆様におかれましては、本年度一年間を充実したバドミントンライフで過ごされたこととお慶び申し上げます。

私共、愛知県バドミントン協会は、年明けから平成29年度を総括し、次年度への目標を掲げるべく事業に何かとあわただしい日々を過ごしていました。

そこで、本会のこの1年を振り返ってみると、

選手強化面においては、久湊菜々選手がジュニアナショナルチーム(U16)入りを成し遂げ、さらには2020年東京オリンピックへ向けた愛知県強化指定選手にも選ばれました。また、第26回全国小学生選手権大会4年生以下の部で、山本優愛選手がシングルスの部で、伊藤菜央加選手、岡本芽選手ペアがダブルスの部でそれぞれ全国優勝を果たし、ジュニア強化策の成果が表れた一年であったと思います。

一般ではジェイテクトチームが日本リーグで優勝し、来年度のS/Jリーグに昇格したことは、オール愛知の強化に対し、非常に力強いリーダーシップを發揮してもらえるものと期待しております。

指導、普及面においては、地域指導者養成事業に力を注いだ一年がありました。小中学生層の会員拡大につながる事業にも力を注ぎ、微かではありますが、その効果を表すことができました。他にも平成29年度東海総合選手権大会、第68回全日本学生選手権大会の開催にあたりましては、皆様のご協力のもと成功裏に終えることができ、普及活動に大いに貢献できたものと思います。

多岐にわたって様々な事業を展開してきた一年ですが、無事ここまで来られましたのも皆様のご指導、ご協力の賜物だと感謝申し上げます。次年度も倍旧のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

西三河のバドミントン専門店

モリモリ

豊田市山之手3丁目100番地
☎ <0565> 29-0055

勝つための本物

GOSEN®

www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社/TEL.06-7175-7115 FAX.06-6538-8238

愛知のホープ 長束翔太(大里東スポーツ少年団4年生)



バドミントン経験者の両親の影響を受けて、3才の頃からラケットを握り、庭で素振りをしたり、部屋でヘアピンの練習や、ランニング、動画研究を日課に、お父さん、お母さんと3人でコツコツと地道な努力をしてきました。

大里東スポーツ少年団は創設2年目で4年生が主体のチームです。

仲の良い同級生が7人いますが、一人ひとりの怪我の心配や、チームメイトの良かった所を嬉しそうに話したり、下級生への気配りも出来るので、上級生や経験者が少ない大里東スポーツ少年団では、みんなのリーダーとして、頼りになる大きな存在です。

練習姿勢はとても真面目で、どんな練習にも全力で取り組み、手を抜きません。

試合スタイルは、超攻撃的。特に気持ちのコントロールが上手く、安定した精神力と、相手選手のプレースタイルに応じ、先を考えた配球を武器に、最後まで全力で戦い抜きます。

「心技体」どれも素晴らしい、本当に強い選手です。そして、チームメイトの試合も全力で応援します。先のABC予選で敗れ準優勝だった悔しさをバネに、一段と猛練習して、県単1位、東海単1位、全小単2位と躍進し、先日U13ジュニアナショナルメンバーに選ばれました。稲沢の地から全国のてっぺんを目指して、頑張ってほしいです。大里東スポーツ少年団のコーチ陣、保護者は全力でサポートし、応援しています。

(大里東スポーツ少年団コーチ 成瀬 充宏、北野 衣里子)

フットワーク

此の欄は、連載物のコーナーとして県内各チームの紹介やその他の記事を皆さんに続けてお届けするコーナーです。

今回は

豊田通商バドミントン部

を紹介します。

豊田通商バドミントン部は男子6名、女子9名の実業団チームです。創部54年の歴史があり、多くのOB・OGが今も愛知県内外でシニアとして活躍しています。女子チームは愛知県実業団リーグ、全日本実業団選手権での上位を目指し、長く活動していましたが、4年前に日本リーグ昇格を目指し、チャレンジリーグへ参戦、昨年は惜しくも2位でした。今年こそ昇格を目指し、練習に取組んでいます。



今年からは男子チームもチャレンジリーグに加盟したので、男女ともに「日本リーグ昇格」が目標になり、チームは大変盛り上がっています。

練習は社有の緑体育館を中心に1回3時間、平日夜・土曜日の週3回。メニューはシンプルで、基本的な反復練習が中心ですが、主要大会の前には、大学や強豪チームとの合同練習で課題を見つけ、次のステップに活かすようにしています。

チームの特徴は、若い選手からOB・OGなどのベテラン選手、スマッシュの速い選手から細かい技術を得意とする選手など選手層に幅があることと、きつい練習もなんとか最後まで元気に楽しくやれるところです。競技活動だけでなく、協会主催のジュニア強化活動に他チームとともに参加し、スポーツを通じた社会活動にも取組んでいます。

豊田通商バドミントン部は、これまで多くの方々のご支援によって続けてくることができました。我々は社会人としても選手としても「いつでも頑張る実業団チーム」になることを目指しています。これからも応援宜しくお願いします。

(豊田通商バドミントン部監督 北村 裕幸)

NEWS

指導委員会

◆指導委員会事業

- ①1月27日 碧南市バドミントン講習会に講師を派遣
 - ②2月24日 ジェイテクトチームによる指導者講習会開催
 - ③3月 4日 高等学校三河地区指導者講習会に講師を派遣
- ①②③についてはHPをご覧ください。
報告書を掲載しています。

平成30年度は、指導員及び上級指導員の養成講習会を開催します。

日程は、11月、12月。指導員20名程度、上級指導員10名程度を募集予定です。

受講希望者は、早めに指導委員会までご連絡ください。 (指導委員長 佐藤 荘二)

連盟NEWS

実業団連盟

◆チャレンジリーグ2017

まもなく開催されるチャレンジリーグ2017において、県下の実業団チームが日本リーグ昇格を目指し多数参戦します。JTEKTチームに続き、将来S/Jリーグへの昇格を目標に、各チームがその布石となるような好成績を収めることを期待しています。

バドミントン チャレンジリーグ2017

開催期日:平成30年2月23日～25日

開催場所:東京都立川市

愛知県参加チーム:(男子)トヨタ自動車、新日鐵住金、
豊田自動織機、愛知製鋼、
豊田通商
(女子)トヨタ自動車、豊田通商

(愛知県実業団連盟 理事長 井上 龍)

レディースバドミントン連盟

◆第9回 愛知オープンレディースバドミントン大会(団体戦)成績表

主催:愛知県レディースバドミントン連盟

後援:中日新聞社

期日:平成30年1月22日(月)・23日(火)・
29日(月)～31日(水)

会場:日本ガイシスポーツプラザ 第2競技場

173チーム 1,098名

クラス	優勝チーム	地域
Aクラス1	あじさい	半田
2	ミカン	和歌山
3	プラム	小牧
4	ビアーズ	名古屋
5	フェニックス	岡崎
6	かきつばた	知立
Bクラス1	あずさ	瀬戸
2	あじさい	京都
3	ウイスター	津島
4	トワインクル	安城
5	レディース	東海
6	インターバル	名古屋
7	四日市B	三重
8	高山木曜クラブ	岐阜
9	松阪クラブA	三重
10	らんか	東郷
11	桜組	岐阜
12	四日市A	三重
13	ばどんず	滋賀
14	霞クラブA	三重
15	ソーカラブ	岐阜
16	大阪UL	大阪
17	ホワイト	稻沢
18	なのはな	半田
19	名東百合	名古屋
20	ラブリー	長久手
21	四日市C	三重
22	CLEAR'S	静岡
Cクラス1	マックス	蟹江
2	バースデー	春日井
3	あすなろ	犬山
4	ベアーフレンズ	一宮
5	神津クラブ	大阪
6	レッド	稻沢
7	プリマドンナB	静岡
8	にしひ	清須
9	プリマドンナA	静岡
10	ベアーズ	一宮
Dクラス1	ソーカラブ	岐阜
2	花ノ木	知立
3	モナミ	岐阜
4	ペルセウス	岡崎

中小体育連盟バドミントン部

◆中学生強化練習

11月に行われた愛知県中学生新人バドミントン大会で、シングルスベスト4以上、ダブルスベスト8以上の選手を対象とした、強化練習会を行っています。

12月より活動を始め、福井県・滋賀県・愛媛県・三重県など、主に県外の上位選手との合同練習や練習試合を行っています。

この活動は、2月の埼玉ジュニアオープン大会(男女各2チーム)、3月の全日本中学生バドミントン大会(都道府県別男女合同団体戦)に出場する選手を選抜する役割も持っています。

12月27日に行われた全日中のリハーサル大会では、事前に選抜された選手で出場。決勝で大阪府に勝ち、優勝しました。全ての都道府県が出場した大会ではありませんでしたが、3月の本番の大会でも好成績が期待できそうです。

(中小体連委員 石井 久伸)

市町村だより

蒲郡バドミントン協会

育成事業として、週1回、5週連続の教室を年3回(春・夏・女性向け)開催しています。

平成30年2月2日からは、蒲郡市民体育センターで、春のバドミントン教室を開催しました。小学生25名、大人21名が8面に分かれ、基本的なスイングやフットワークを学びました。初めてラケットを握る人は、思いのほかハードなスポーツだと驚いていました。協会役員は、最終日のミニゲームでの勝利を目標に、バドミントンの楽しさが伝わるよう、工夫を凝らして指導しました。

稻沢市バドミントン協会

平成30年1月14日(日)平和町体育館において、第11回稻沢バドミントン交歓会が、開催されました。

当初の目的は、協会所属クラブ間の交流親睦でしたが、年々参加者が減少してきたこともあり、今回からオープン大会となりました。初回で宣伝不足もあり、今回は、男子55名、女子34名、計89名の参加でしたが、来年度からも、稻沢バドミントンの発展のため、このオープン化を進めていきたいと考えています。

豊田市バドミントン協会

◆第31回 市民団体バドミントン大会(秋季団体戦)

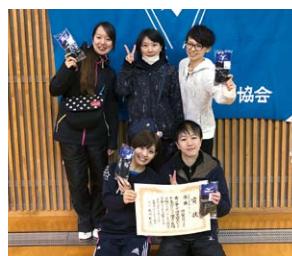
期日:平成29年12月24日

会場:スカイホール豊田(メインホール)

	優勝	参加チーム
男子	男子1部 優勝 G.spank!A	27チーム(128名)
女子	女子1部 優勝 G.spank! プラス	23チーム(102名)



男子1部 優勝 G.spank!A
メンバー:高田・大岡・
齋藤(真)・水野



女子1部 優勝 G.spank! プラス
メンバー:横田・濱野・佐藤・
堀菜・座間味

知多市体育協会バドミントン連盟

◆新春バドミントン大会

平成30年1月7日(日)、知多市民体育館において、混合ダブルスの部48組、小学生学年別シングルス71名の参加で、白熱した試合が展開された。

	優勝	準優勝
混合ダブルス	松の部 貝原 健太郎 座間味 星乃 (つつじ)	森田 貴士 稻川 恵里奈 (S.S)
	竹の部 上村 幸司 上村 咲智 (新田)	菅原 浩司 平沼 由紀 (スマイル)
	梅の部 平野 泰孝 木村 満智子 (つつじ)	内木 豊 内木 花憐 (チームN)
小学生シングルス	4年 賢生 悠介 (知多J)	石丸 龍一 (ハ幡)
	5年 臼沢 紅映 (知多J)	古川 杏奈 (知多J)
	6年 山内 めい (知多J)	山本 有桜 (知多J)



バドミントン日本リーグ2017 優勝・S/Jリーグ昇格

平成29年11月16日～19日、福井県勝山市体育館（ジオアリーナ）において、バドミントン日本リーグ2017が開催されました。試合は8チーム総当たりの3日間7試合という過酷な日程の中、我がJTEKT（ジェイテクト）チームは全勝優勝（7勝0敗）し、念願のバドミントンS/Jリーグに昇格することができました。

今大会に向け、選手は3日間を乗り切るための厳しい練習に耐え、スタッフも全力でサポートし、チーム一丸となって取り組んできた結果が、優勝につながったと思います。

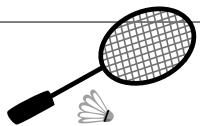
当日は、OB、OG、職場の方々のたくさんの応援で盛り上がることができ、感謝しております。

今後は、愛知県唯一のS/Jリーグチームとして頑張ります。応援よろしくお願いします。

（JTEKT副部長 峰 登志郎）



審判連載



今回のテーマは
「スコアシートの記入の仕方について」です。

水野 慶介

私はレフェリーとして大会に参加し、スコアシートの記入方法、状況を確認しますが、個人個人で驚くほど書き方に違いがあります。

愛知県の主要な大会のタイムテーブル表や競技規則には、記入の仕方が明記されているので、真似をするのが良いと思います。

正しい記入をする事によって、不測の事態（立ち位置や点数が分からなくなる等）からのリカバリーが容易になります。

因みに、私は先ず主審名を記入し、余白に選手の身体的特徴等を書くなどして、緊張感をもって業務にあたり、不測の事態回避をしています。

編集後記

表彰式の後、優勝カップと賞状を手に、笑顔で写真に収まる優勝者。その傍らを通り過ぎてゆく準優勝者（敗者）が、いる。

長い戦いの末、負けて疲れが倍増し、心身共によれよれの人。決勝戦で戦えたことが嬉しくて、満足感に溢れている人。悔しさで唇を噛み、下を向いたまま足早に通り過ぎる人…。どの背中にも「次こそね。頑張って!」とエールを送っている。

どんな人でも、「最後の勝利」を手にするには、目標を持って練習することは絶対条件。そして、根気よくやり続けること。諦めない気持ちは究極の強さなのかもしれません。目に見える進歩はなくても、せめて後退しないよう、ゆっくりでもやり続けていきたいですね。「継続は才能だあー!」なーんてね。(笑)

（広報委員 山本真弓）

連絡 投稿

〒452-0008 清須市西枇杷島町地領 1-9-9

広報委員長 岩田 崇

TEL (052) 501-2602

愛知県バドミントン協会のホームページアドレス

<http://www.badminton-aichi.com/>

E メールアドレス

info@badminton-aichi.com

テニス・バドミントン専門店

ラケット
ショップ **NONAKA**

名古屋市千種区内山町3丁目28番2号
TEL <052> 741-3537

スポーツごころを世界に。

 YONEX®